

平成29年度 高校生模擬議会

問 教育総務課 ☎ 内線3012、広報政策課 ☎ 内線3221、庶務議事課 ☎ 内線3531

市民が参加しやすい文化・スポーツ活動について



にし ななこ
西 菜々子さん（牛久栄進高等学校）
生涯スポーツの観点で市の施策と現状、今後の計画、また市民が参加しやすい文化的な学習の場として新たな企画はありますか。

教育長答弁 様々な年代の人たちがスポーツに触れる機会を提供し、体育協会、スポーツ少年団の活動を支援しています。今後もどの世代の方も気軽にスポーツを楽しみながら健康づくりが図れるよう各種スポーツ事業を支援します。文化的な場としては「うしく郷土検定」や「うしく郷土かるた」で牛久の歴史や文化を学ぶ講座を企画しています。

市の防犯対策について



いまざれ かつき
今給黎 克己さん（牛久高等学校）
子どもたちや地域の方々が安心して生活するための対策として、市の方針や取り組みを教えてください。

市長答弁 市では広報うしくやかつぱメール、FM放送などで防犯情報提供を行い、また防犯連絡員の防犯パトロールなどを実施し防犯意識の向上に努めています。また、防犯灯や防犯カメラの設置に取り組んでいます。平成28年6月に牛久警察署と協定を締結し、助言を受けながら重点地域に防犯カメラを設置していきます。

外国人観光客の誘致について



みさいづ ゆうか
美齊津 友花さん（牛久栄進高等学校）
外国人観光客誘致のための方策と外国人観光客へのおもてなしのあり方についてどのように取り組まれるのか教えてください。

市長答弁 市単独で外国人観光客を誘致することは非常に困難なことから県と協力して「ファミツアー」を開催し、市をPRしています。また言葉が通じないストレスを解消してあげることが最大のおもてなしと考え、市には外国語に対応できる観光ガイドが不在のためその育成も課題です。今後必要とされる言語に対応できる体制の構築を検討していきます。

スポーツ環境の充実について



あゆざわ かずほ
鮎澤 一穂さん（牛久高等学校）
平成31年度開催の茨城国体の準備計画も含め、今後の市としてのスポーツ施設充実の見通しを教えてください。

教育長答弁 茨城国体開催に向けて体育館の屋根、トイレ、空調設備改修を進め、武道館建設は平成31年3月完成を目指しています。また、東京オリンピックが開催される平成32年度以降も野球場やプール施設、テニスコートの改修を進める計画です。市として市民がスポーツ施設を安全快適に使用できるよう計画的に整備していきます。

学び合いの授業について



おおやま なお
大山 菜桜さん（牛久栄進高等学校）
これまでに実施してきた「学び合いの授業」を総括して、今後の「学び合いの授業」のあり方や「アクティブ・ラーニング」についての方針を教えてください。

教育長答弁 市では「一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり」をテーマに子どもたちが友だちとの関係を大事にし学び合う授業づくりを進めています。これは、国が目指すアクティブラーニングの学びと同じにするものです。これからも新しい時代を生き抜く学力を身に付けていけるような学校・授業づくりに取り組んでいきます。

待機児童対策について



はらだ わたる
原田 亘さん（牛久高等学校）
待機児童対策を国も講じ始めたところですが、市での現状やどのような取り組みを行っているのか、また今後の対策を教えてください。

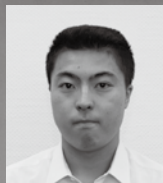
市長答弁 待機児童を解消するため今年度は小規模保育施設を1施設整備予定です。保育士確保についても様々な手段で募集しています。また、事務軽減や保育補助者の雇用費補助での職場改善で保育に専念できるように、今後も国・県の制度を活用しながら保育士を雇用しやすく、長く勤められるよう支援に努めます。



8月18日、市議会議場で「平成29年度高校生模擬議会」を開催しました。牛久市での「高校生模擬議会」の開催は初めてのことです。市内各高等学校から3人ずつ、計12人が参加し、市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が投げかけられ、市長および教育長が答弁しました。

牛久市の将来を担う模擬議員さんの皆さんの質問、それに対する市長、教育長からの答弁の概要を紹介します。

市民からの意見・提案への対応について



みとみ ひびき
三富 響さん (つくば開成高等学校)
市民からの要望・提案の中から政策や施策に活かせるような意見を探し出す方法がありますか。また意見・提案に対する対応はどのように行っていますか。

市長答弁 市民からのご意見やご提案などは、職員間で情報を共有することで、市民ニーズの把握に努め、業務改善や新規事業の企画に役立てています。また、タウンミーティングや行政区意見交換会を実施し、市民と直接言葉を交わし、生の声を施策に生かしています。

住み良い生活環境のための政策について



かずま なお
数間 菜緒さん (東洋大学附属牛久高等学校)
道路環境や都市施設の整備など市民が住み良いと思えるような生活環境を実現するため、市ではどのような計画を策定してまちづくりを進めていますか。

市長答弁 今年3月に「牛久市第3次総合計画後期基本計画」を策定しました。その中で安全・快適・便利で魅力あるまちを目指し、道路の拡幅や危険個所の整備を重点的な取り組みとして挙げています。市内を一度に整備することはできませんので、現場の状況を確認しながら優先度を考慮し順次取り組んでいきます。

駅周辺店舗の空洞化対策について



しげた あると
繁田 有都さん (つくば開成高等学校)
牛久駅ビルの空きフロアや、牛久駅周辺店舗の空洞化への対策はどのようになっていますか。

市長答弁 市は「エスカード牛久」の再生を重要課題と考え、専属部署「エスカード対策室」を立ち上げ、問題解決に向けた対応を講じています。また、今年度牛久市商工会が中心となり、中小企業・小規模事業者を応援する「まちゼミ」を実施します。その他にも駅前と市内商工業の活性化のため、駅前でのイベント開催等も行っています。

特色ある教育の実践について



おおほり あつき
大堀 敦紀さん (東洋大学附属牛久高等学校)
「おくのキャンパス」や放課後カッパ塾、土曜カッパ塾などの取り組みに興味を持ちました。そこで市が実践している「特色ある教育」とはどのようなものか教えてください。

教育長答弁 「おくのキャンパス」では小中一貫教育や地域の人たちとの行事で様々な交流を通して学んだり、英語教育の充実を図ったりしています。また、放課後に無料実施の「うしく放課後カッパ塾」や、地域の人たちの力を借りて様々な教室を開催する「うしく土曜カッパ塾」を実施し、地域と共に子どもの成長を支えています。

ひたち野地区の中学校新設について



ともき
グリープ・ニコラス・友喜さん (つくば開成高等学校)
中学校の新設にあたってソフト面、ハード面でどのようなことの充実を目指し、魅力ある学校づくりを考えていますか。

教育長答弁 新設校は平成32年4月に開校する予定です。湿度の調整機能や木の柔かさ・温かみが生徒に与える好影響に着目し、校舎を木造平屋建てで計画をしています。また、市の学校教育指導方針に掲げる「一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり」のもと、子どもたちが友だちのとの関係を大事にしながら、共に学び合う授業づくりを進めていきます。

図書館の利用について



せき ちなつ
積 千夏さん (東洋大学附属牛久高等学校)
図書館の利用者により満足してもらうために、またこれまで利用していなかった方にもっと利用してもらうためにどのような計画がありますか。

教育長答弁 図書館では学習室に仕切りがある個別の学習机を導入し、総合案内や専門的な相談を行えるよう「司書相談カウンター」を設け、7月からは「読書手帳サービス」を開始しました。また、様々な事情で学校に登校できない子どもたちのため、「居場所」として「そっと温かく見守る支援」を各機関と連携し行っています。